

2023年7月20日

各位

三井住友信託銀行株式会社

## 株式会社FRDジャパンへの出資 およびブルーサステナビリティローンの契約締結について

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、株式会社FRDジャパン(代表取締役:辻 洋一/十河 哲朗、以下「FRD」)への出資(以下「本出資」)を決定し本日付で出資を実行するとともに、ブルーサステナビリティローンの融資契約(以下「本ブルーサステナビリティローン」)を締結いたしました。

### 1. FRDについて

FRDは、「海に依存しない陸上養殖で未来の魚食文化を創造する」というミッションのもと、水産養殖のポテンシャルを開放し、陸上養殖の中でも閉鎖循環式陸上養殖により、獲れたて・新鮮・安心安全な魚を、世界中のあらゆる場所で生産できる未来を創っていくことに挑戦しています。天然漁獲量が頭打ちとなり、「海面養殖」が急拡大することで魚のフンや残餌による環境負荷が問題となる中、FRDは「閉鎖循環式陸上養殖」を世界中に普及させ、持続可能な水産物生産手段の確立と、今後も美味しい魚が手軽に食べられる世界の実現を目指し、陸上養殖の産業化に取り組んでいます。

### 2. 本出資について

世界の人口増加等を背景に、食料安全保障が国際問題となっており、日本をはじめ、食料の多くを輸入に依存する国々では、食料自給率の向上が喫緊の課題です。

FRDは閉鎖循環式陸上養殖を手掛け、その技術の国内外への普及を通じて、世界の食料安定確保を目指しています。こうした社会貢献性のある取り組みに当社は共感し、このたびインパクトエクイティ投資の一環としてFRDへ出資を行いました。

### 3. 本ブルーサステナビリティローンについて

ブルーサステナビリティローンは、ブループロジェクトおよびソーシャルプロジェクトに要する資金を調達する際に用いられる融資です。調達資金の使途がブループロジェクトおよびソーシャルプロジェクトに限定されるほか、資金の追跡管理や融資実行後のレポートングを通じ、透明性が確保されるなどの特徴を有しています。

ブループロジェクト	環境改善効果に資する事業の中でも、SDGs 目標 6「安全な水とトイレを世界中に」、または SDGs 目標 14「海の豊かさを守ろう」等に該当し、「持続可能な経済成長、海洋関係者の生活向上と雇用創出、海洋資源の保全」を目的とした事業
ソーシャルプロジェクト	社会課題の解決に資する事業

本ブルーサステナビリティローンの締結に際し、FRDは「ブルーサステナビリティローン・フレームワーク(以下「本フレームワーク」)を策定しました。本フレームワークは株式会社格付投資情報センター(代表取締役社長:山崎 宏)より、ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)(※1)等が策定した「グリーンローン原則」および「ソーシャルローン原則」に適合し、国際金融公社(IFC)(※2)が策定した「ブルーファイナンスガイドライン(Guidelines for Blue Finance)」に記載されるブルーアクティビティに該当していることについてセカンドオピニオン(※3)を取得しています。

<本ブルーサステナビリティローンの概要>

契約締結日	2023年6月21日
資金使途	閉鎖循環式陸上養殖商業プラント(千葉県富津市)の建設資金等
貸付人(五十音順)	京葉銀行、三井住友信託銀行、りそな銀行

<資金使途の概要>

FRDは、本ブルーサステナビリティローンにより調達した資金を、サーモントラウト陸上養殖商業プラント(千葉県富津市)(以下「本商業プラント」)の建設資金等に充当いたします。FRDは2018年より千葉県木更津市および埼玉県さいたま市にて、サーモントラウト陸上養殖実証実験プラント(以下「実証実験プラント」)を運営してきました。実証実験プラントでは、これまで20世代以上の魚を養殖し、バクテリアを活用した独自の閉鎖循環システムによって理想的な水質環境を維持することで、海に依存せずにサーモントラウトが安定生産できることを実証してきました。本実績を踏まえ、本商業プラントの建設に取り組みます。FRDは、本商業プラントを皮切りに、日本を含むアジア圏を中心に1拠点最大1万トン規模のサーモン類陸上養殖プラントを複数展開していくことで、低コストで美味しい魚の安定供給と環境負荷の低減を目指していきます。

4. サーモントラウト陸上養殖商業プラント(千葉県富津市)

<本商業プラント完成予想図>



<閉鎖循環式陸上養殖システム>



当社では、インパクトエクイティ投資やブルーサステナビリティローンなどのサステナビリティに関するソリューションの提供により、SDGs 達成に資するお客さまのさまざまな事業活動を支援するとともに、お客さまの中長期的な企業価値の向上に貢献することを引き続き目指していきます。

(※1) ローン・マーケット・アソシエーション (LMA)

欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会であり、60ヶ国以上に属する700以上の機関が加盟しています。

(※2) 国際金融公社 (IFC)

途上国の民間セクター開発に特化した世界最大の国際開発機関であり、途上国の民間セクターの成長を促すことで、経済の発展と人々の生活水準の向上を図っています。

(※3) セカンドオピニオン

株式会社格付投資情報センターのウェブサイトをご参照ください。

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

以上